

五所川原市  
観光・レクリエーション施設  
整備計画

2020年3月  
五所川原市

観光物産課

健康推進課 農林水産課 社会教育課

<目次>

1. 計画の目的	1
2. 本計画の位置付け	1
3. 計画期間	1
4. 対象施設	2
5. 観光・レクリエーション施設の現状	3
6. これまでの整備状況	4
7. 今後の整備方針	4
8. フォローアップの実施	7
個別票	8

## 1. 計画の目的

近年、本市を含む多くの地方公共団体においては、公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっています。また、厳しい財政状況が続く中、今後、人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されています。このことから、早急に公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって長寿命化等を計画的に行うことにより、財政負担の軽減・平準化を図るとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要となっています。

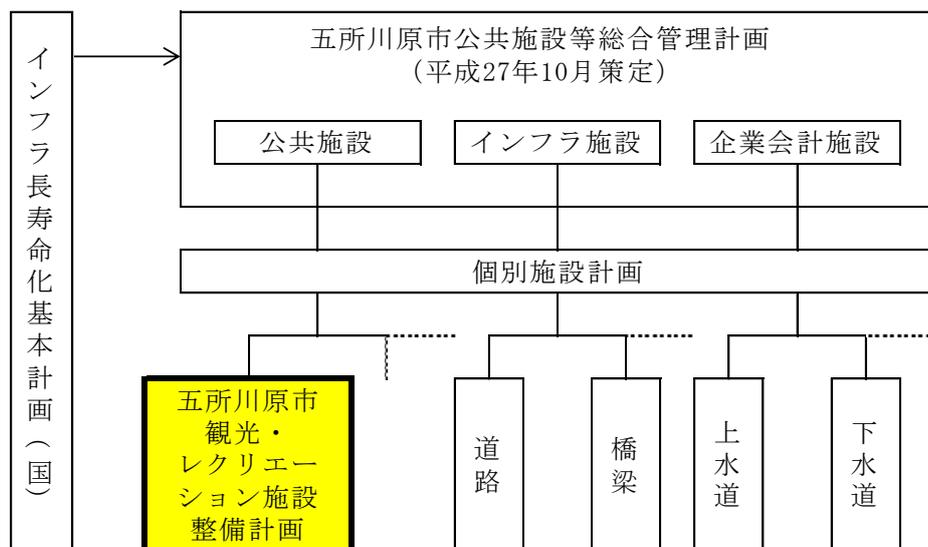
そのような中、国は2013年（平成25年）11月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、各地方公共団体においても、このような国の動きと歩調を合わせ、速やかに公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画の策定に取り組むよう要請されたところです。

これらを踏まえ、本市では2015年（平成27年）10月に「五所川原市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」といいます。）を策定し、基本的な方針を示しました。

今回策定しました「五所川原市観光・レクリエーション施設整備計画」（以下「本計画」といいます。）は、総合管理計画で示した基本的な方針を具現化するため、個別施設ごとに今後の方向性やスケジュール、方向性に伴う事業費などについて取りまとめたものであり、将来に向けて、保有する公共施設等を有効活用しつつ、施設保有量の適正化や計画的な保全による施設の長寿命化を図る取組の指針とするものです。

## 2. 本計画の位置付け

本計画は、総合管理計画に基づく実施計画である個別施設計画として位置付けます。



## 3. 計画期間

総合管理計画の計画期間は2044年度（令和26年度）までの30年間としていますが、本計画は、その第1期分として、2020年度（令和2年度）から2029年度（令和11年度）までの10年間とします。

なお、本市を取り巻く社会経済情勢の変化等により、見直しが必要な場合は適宜見直しを行っていきます。

#### 4. 対象施設

本計画での対象施設は以下のとおりです。

No.	建物名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年 (年)	老朽化率 (%)
1	し〜うらんど海遊館	磯松山の井	1,524.55	2000	90.9
	し〜うらんど海遊館屋外機械室		80.00	2000	58.8
2	サマーハウス	脇元野脇	123.00	1990	150.0
3	バンガロー	脇元野脇	168.00	1991	131.8
	バンガロー収納庫 (管理棟)		28.00	1991	120.8
4	金木観光物産館	金木町朝日山	716.31	1999	55.3
5	十三湖マリーナ事務所	十三五月女菴	113.54	1994	108.3
	十三湖マリーナ収納庫		83.00	1994	173.3
	十三湖マリーナ修理庫		90.00	1994	173.3
6	総合交流促進センター	相内実取	580.00	1996	100.0
	交流広場倉庫		71.00	2003	113.3
7	市浦地域活性化センター	十三土佐	638.44	1988	133.3
	市浦歴史民俗資料館		312.66	1988	84.2
	中の島ロマネスクドーム		195.20	1991	120.8
	中の島ケビン		263.20	1988	145.5
	中の島交通広場収納庫		38.00	1987	97.1
	中の島更衣室		18.00	1987	150.0
	中の島公衆便所		39.74	1986	226.7
	中の島公衆便所		22.00	1987	220.0
8	立佞武多の館	大町	7,598.20	2004	42.1
	立佞武多広場倉庫		69.56	2013	46.7
	立佞武多の館駐車場公衆トイレ	上平井町	23.90	2004	51.6
9	鯨御殿	脇元野脇	287.00	1990	136.4
10	金木交流プラザ	金木町芦野	410.67	2003	50.0
11	山王坊公衆便所	相内岩井	30.00	1987	220.0
12	金木自然休養村管理センター	金木町芦野	659.00	1982	100.0
13	津軽三味線会館	金木町朝日山	780.20	1999	61.8
合 計			14,996.17		

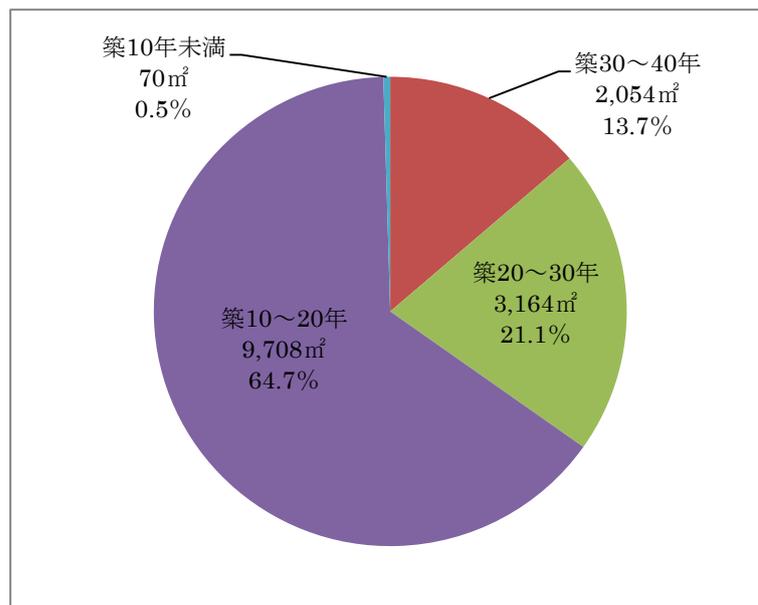
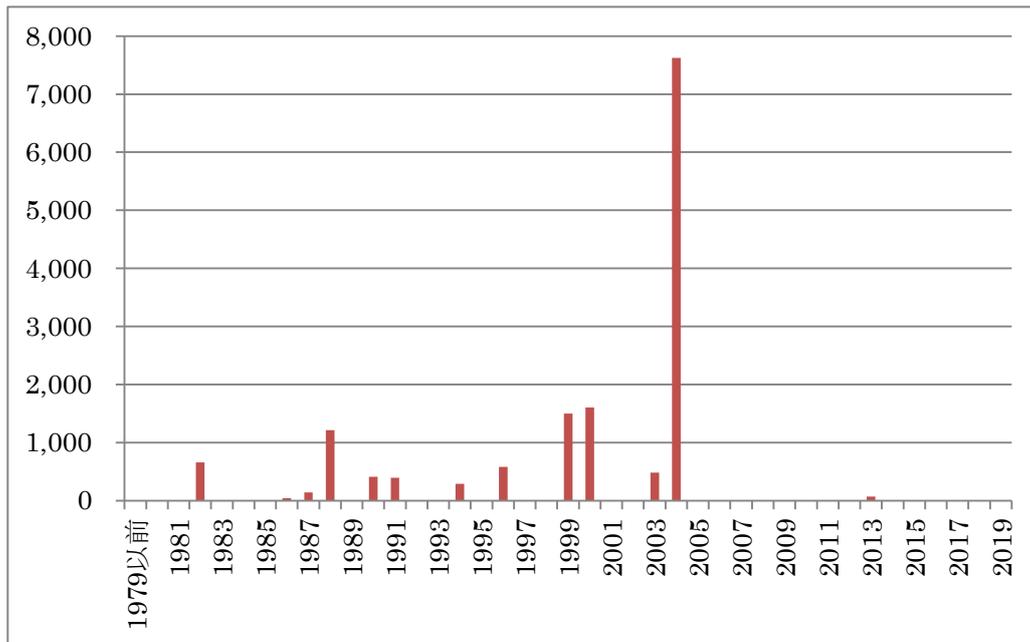
※老朽化率は、経過年数を耐用年数で割った値 (令和2年4月1日時点)

※No.7の施設群を「十三湖中の島ブリッジパーク」と表記します。

## 5. 観光・レクリエーション施設の現状

総延床面積は14,996.17㎡で、建築年別では、築30～40年が13.7%、築20年～30年が21.1%、築10～20年が64.7%、築10年未満が0.5%となっています。施設数の約64.3%、延床面積では3,442.12㎡、約23.0%が法定耐用年数を超えており、これまで小規模修繕により施設を維持してきました。2015年度（平成27年度）から2016年度（平成28年度）にかけて、金木観光物産館、総合交流促進センター、十三湖中の島ブリッジパーク及び脇元海辺ふれあいゾーン（サマーハウス、バンガロー、鯨御殿）では大規模改修が行われています。

建築年別の延床面積（㎡・年）



## 6. これまでの整備状況

最近の主な整備・改修状況は以下のとおりです。(総事業費が 10,000 千円以上の主な事業)

事業名	金木観光物産館改修事業
事業年度	2016 年度 (平成 28 年度)
事業内容	軒天、壁修繕、看板修繕、券売機購入、消防設備修繕、改修工事、サンデン製平型ショーケース購入、オープンショーケース購入、浄化槽微細目スクリーン交換
総事業費	33,401 千円 (財源：地方債 32,600 千円、一般財源 801 千円)

事業名	五所川原市総合交流促進センター大規模改修事業
事業年度	2015 年度 (平成 27 年度)～2016 年度 (平成 28 年度)
事業内容	ガス給湯器取替え、冷凍冷蔵庫取替え、ゆで麺器取替え、製氷機取替え、冷蔵ショーケース取替え、大規模改修工事、道の駅十三湖高原展望台看板修繕、道の駅十三湖高原配水管漏水修繕
総事業費	37,227 千円 (財源：地方債 36,700 千円、一般財源 527 千円)

事業名	中の島ブリッジパーク及び脇元海辺ふれあいゾーン大規模改修事業
事業年度	2016 年度 (平成 28 年度)
事業内容	【サマーハウス、バンガロー、鯨御殿】脇元海辺ふれあいゾーン大規模改修工事 【中の島ブリッジパーク】中の島ブリッジパーク大規模改修工事
総事業費	45,092 千円 (財源：地方債 45,000 千円、一般財源 92 千円)

事業名	立佞武多の館整備事業
事業年度	2015 年度 (平成 27 年度)～2017 年度 (平成 29 年度)
事業内容	空調機部品交換、空調機エンジン修繕、ターンテーブル 1、3 号機スリップリング交換、消火用設備購入、電気給湯器購入、館前広場タイル修繕、大扉・ブリッジ修繕、館内タイル修繕、3 階・6 階空調機修繕、クレーン渡り手摺修繕、トイレ修繕、電気給湯器修繕、空調機修繕、館内タイル修繕、館裏舗装修繕工事、製氷機購入、非常用予備発電機修繕、湧水排水ポンプ取替、館内タイル修繕、館前広場タイル修繕、館 3 階作業室ランプ取替、館 1 階入場券券売機購入、ウォシュレット便座購入
総事業費	75,723 千円 (財源：国庫：32,564 千円、地方債 37,900 千円、一般財源 5,259 千円)

## 7. 今後の整備方針

### (1) 適正配置・適正規模の考え方

本市が保有する公共施設等の機能を適切に保つためには、維持管理や運営に係る経常的な費用が継続して必要になるため、法定耐用年数を大幅に超えた施設のあり方を検討する必要があります。設置目的を果たした施設、また利用者数が減少している施設で類似施設が存在する場合は用途廃止し、転用、民間委譲、除却を検討します。

### (2) 優先順位の考え方

①施設利用者が多い、②施設運営方法や施設機能の向上により利用状況が改善される見込みがある、③市内に類似施設がなく希少性が高い、④整備目的が明確で目的に合致した利用が継続的に行われている、⑤地域防災において災害拠点や避難施設として指定され代替できる施設がない、などを優先するものとします。

### (3) ユニバーサルデザイン化の推進

「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の推進に関する法律」(バリアフリー法)や「ユニバーサルデザイン2020行動計画」に基づき、全ての人にやさしいユニバーサル社会を構築するため、高齢者、障害者に留まらず、誰もが利用しやすい公共施設のユニバーサルデザイン化を推進します。今後、更新や改修を行う際は、ニーズを踏まえ、ユニバーサルデザインを考慮し実施していきます。

### (4) 施設の管理方針

点検・診断・修繕等の履歴を記載して保存することにより、維持管理・修繕・更新を含む老朽化対策等に活かし、施設の長寿命化を図るなどトータルコストの縮減・平準化を目指し、計画的に実施していきます。

### (5) 整備方針

存続する施設を維持するために、小破修繕を行い長寿命化を図ります。大規模な改修等が必要となる場合は用途廃止し、民間委譲又は除却を検討します。使用可能で利用者数が低減した施設を廃止とする場合は転用又は民間委譲を行い、これらが不可能な場合は除却します。

#### ①今後10年の整備方針

No.	施設名称	方向性	行動計画	管理方法	説明
1	し〜うらんど海遊館	廃止	除却	—	施設の老朽化により廃止し、解体時期を検討します。
2	サマーハウス	存続	現状維持	指定管理	大規模改修が必要な場合は、廃止等を検討します。
3	バンガロー	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。
4	金木観光物産館	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。
5	十三湖マリーナ	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持しながら、今後民間委譲も検討します。
6	総合交流促進センター	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。
7	十三湖中の島ブリッジパーク	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。
8	立佞武多の館	存続	大規模改修	指定管理	大規模改修を実施します。
9	鯨御殿	存続	現状維持	指定管理	大規模改修が必要な場合は、廃止等を検討します。
10	金木交流プラザ	存続	現状維持	指定管理	現在の建物を維持します。
11	山王坊公衆便所	存続	現状維持	直営	現在の建物を維持します。
12	金木自然休養村管理センター	廃止	民間委譲	—	民間委譲を検討します。
13	津軽三味線会館	存続	一部改修	指定管理	建物の一部を改修します。

※施設の方向性等の説明

方向性	行動計画	説明
存続	現状維持	現状のまま維持（小破修繕を含む。）
	大規模改修	長寿命化等のため、建物を全面的に改修
	一部改修	長寿命化等のため、建物の一部を改修
	複合機能化	分類の違う目的の施設の機能を取り入れる
	集約化	同じ目的の複数の施設を一つに集約
	広域化	他自治体と共用
	更新	老朽化等のため建物を更新（非現地建替えを含む。）
廃止	転用	施設機能を廃止し他の用途へ転用
	民間委譲	民間事業者等へ譲渡（売却を含む。）
	除却	施設を解体撤去、又は解体時期を検討

※施設の管理方法の説明

管理方法		説明
直営		市の直営 （個別の業務ごとに私法上の契約で委託する方式を含む。）
民間委託	指定管理	指定管理者による管理運営方式
	包括的民間委託	複数の業務や施設を包括的に委託する方式
	P F I など	公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う方式

②改修等の今後のスケジュール

No.	施設名称	今後のスケジュール										
		2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	
1	し〜うらんど海遊館	除却（解体時期検討）										
8	立佞武多の館					大規模改修						
12	金木自然休養村管理センター		民間委譲									
13	津軽三味線会館	改修										

③改修等の事業費及び財源

No.	施設名称	事業年度（年度）	事業費（千円）	事業費内訳（千円）	財源（千円）
8	立佞武多の館	2024	15,250	実施設計（15,250）	地方債（15,200） 一般財源（50）
		2025 ～ 2026	599,520	工事監理（19,520） 大規模改修（580,000）	地方債（599,500） 一般財源（20）
		13	津軽三味線会館	2020	30,000

※事業費等は、調査・設計の結果を受けて変動する場合があります。

④10年後（2029年度）の施設状況比較

総延床面積（㎡）		維持管理コスト（千円）	
現在	2029年度	現在※	2029年度
14,996.17	12,732.62	139,730	84,337

※2015年度から2017年度までの3か年平均

8. フォローアップの実施

本計画を着実に推進していくため、PDCAサイクル（Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善））に基づき、計画の評価・見直しを行いながら実施していきます。

所管課	健康推進課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	し〜うらんど海遊館	総延床面積 (㎡)	1,604.55
所在地	五所川原市磯松山の井 115 番地 126	代表建築年 (年)	2000
構成施設	し〜うらんど海遊館、屋外機械室		
施設の目的	温かな海水を利用したプールを活用し、地域住民の健康増進と生活の質的向上を図る。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
し〜うらんど海遊館	20	16	10	8	10	64
屋外機械室	20	24	8	8	2	62

(2) 供給面 (施設延利用者数) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
27,342	29,492	29,271	—

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
27,666	36,811	38,079	—

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
14,765	14,922	14,309	—

## 3. 基本的な方針

方向性	廃止	行動計画	除却	管理方法	—
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>開設から 20 年目を迎え、塩害及び湿気による腐食により、建物及び設備の老朽化が進んでいる状況となっています。</p> <p>運営については、2018 年度 (平成 30 年度) から 2020 年度 (令和 2 年度) まで指定管理により営業を行います。それ以後については、現施設のままの運営は困難です。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>施設を廃止することとし、解体時期については今後検討します。</p>					

所管課	観光物産課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	サマーハウス	総延床面積 (㎡)	123.00
所在地	五所川原市脇元野脇 103 番地	代表建築年 (年)	1990
構成施設	サマーハウス		
施設の目的	歴史と文化と自然とのふれあいを通じて、家族ぐるみで楽しめる野外レクリエーションの場を確保し、健康でゆとりある生活の推進を図る。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
サマーハウス	20	8	6	16	2	52

(2) 供給面 (施設延利用者数) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
不明	不明	不明	不明

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
十三湖中の島ブリッジパークで一括管理	十三湖中の島ブリッジパークで一括管理	十三湖中の島ブリッジパークで一括管理	十三湖中の島ブリッジパークで一括管理

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
0	0	0	0

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>建物は、2016 年度 (平成 28 年度) に改修を行っています。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>必要に応じて修繕をしながら現状を維持します。修繕では施設が存続できず大規模改修が必要となる場合は、廃止を視野に入れて検討します。</p>					

所管課	観光物産課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	バンガロー	総延床面積 (㎡)	196.00
所在地	五所川原市脇元野脇 103 番地	代表建築年 (年)	1991
構成施設	バンガロー、バンガロー収納庫 (管理棟)		
施設の目的	歴史と文化と自然とのふれあいを通じて、家族ぐるみで楽しめる野外レクリエーションの場を確保し、健康でゆとりある生活の推進を図る。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
バンガロー	20	8	6	16	2	52
バンガロー収納庫 (管理棟)	20	8	6	16	2	52

(2) 供給面 (施設延利用者数) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
959	997	1,082	1,692

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
十三湖中の島ブリッジパークで一括管理	十三湖中の島ブリッジパークで一括管理	十三湖中の島ブリッジパークで一括管理	十三湖中の島ブリッジパークで一括管理

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
1,830	1,782	1,979	1,700

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
【施設の状況及び課題】 建物については、2016 年度 (平成 28 年度) に改修を行っていますが、海岸沿いの立地条件等からも老朽化は進んでいます。					
【基本的な方針の考え方】 必要に応じて修繕をしながら現状を維持します。					

所管課	観光物産課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	金木観光物産館	総延床面積 (㎡)	716.31
所在地	五所川原市金木町朝日山 195 番地 2	代表建築年 (年)	1999
構成施設	金木観光物産館		
施設の目的	市の観光及び物産の振興を図るとともに、市民の文化活動、市民と都市住民との交流活動の利用を図る。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
金木観光物産館	20	24	8	16	8	76

(2) 供給面 (施設延利用者数) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
60,391	54,424	55,756	35,857

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
8,340	8,433	8,658	10,091

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
0	0	0	0

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>2016 年度 (平成 28 年度) に改修工事を行っているため、建物自体に大きな問題は特に無いものの、館内設備の老朽化が見受けられます。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>必要に応じて修繕しながら現状を維持するとともに、リニューアルを含め今後検討していきます。</p> <p>本施設は、斜陽館・津軽三味線会館を訪れる観光客が主な利用者であることから、3施設を一体的に運営することも考慮する必要があります。</p>					

所管課	観光物産課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	十三湖マリーナ	総延床面積 (㎡)	286.54
所在地	五所川原市十三五月女菟 3 番地 1	代表建築年 (年)	1994
構成施設	事務所、収納庫、修理庫		
施設の目的	中の島観光開発と、海洋性レジャー基地として港湾づくり及び十三湖の環境整備を図る。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
事務所	20	8	6	4	2	40
収納庫	20	8	6	4	2	40
修理庫	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (施設延利用舟数) (単位: 隻)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
863	871	847	840

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
0	0	3,338	0

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
9,792	10,576	12,078	10,000

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>湖底に砂が堆積してきているため、一定期間ごとに浚渫を要するなど、維持管理に一定の費用が必要となります。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>本市唯一の海洋性レジャー基地であり、本市のレジャー拠点として重要であるため存続としますが、受益者負担の公平性から、民間委譲も今後検討していきます。</p>					

所管課	観光物産課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	総合交流促進センター	総延床面積 (㎡)	651.00
所在地	五所川原市相内実取 287 番地 1058	代表建築年 (年)	1996
構成施設	総合交流促進センター、交流広場倉庫		
施設の目的	地域に賦存する資源を高度に活用し、就業機会の確保及び地域産業の活性化を図り、また、豊かな自然環境、伝統文化等の地域資源を活用した多様な形での都市との交流を促進し、住民の定住化及び地域の活性化を図る。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
総合交流促進センター	20	8	6	16	2	52
交流広場倉庫	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (施設延利用者数) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
93,530	91,880	81,037	70,264

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
12,452	10,481	11,687	8,244

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
0	0	0	0

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<b>【施設の状況及び課題】</b> 2015 年度 (平成 27 年度) 及び 2016 年度 (平成 28 年度) に改修工事を行っています。					
<b>【基本的な方針の考え方】</b> 本市唯一の「道の駅」であり、市浦地区のみならず本市の観光拠点として重要であるため、長寿命化を図り現状維持に努めます。					

所管課	観光物産課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	十三湖中の島ブリッジパーク	総延床面積 (㎡)	1,560.24
所在地	五所川原市十三土佐 1 番地 294	代表建築年 (年)	1988
構成施設	市浦地域活性化センター、市浦歴史民俗資料館、ロマネスクドーム、ケビン、交通広場収納庫、更衣室、公衆便所 2 か所、駐車場公衆便所		
施設の目的	水と緑とのふれあいを通じて、家族ぐるみで楽しめる野外レクリエーションの場を確保し、健康の増進とゆとりある生活の推進を図る。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
市浦地域活性化センター	20	8	6	16	4	54
市浦歴史民俗資料館	20	16	8	16	2	62
ロマネスクドーム	20	8	6	16	2	52
ケビン	20	8	6	16	2	52
交通広場収納庫	20	16	6	4	2	48
更衣室	20	8	6	16	2	52
公衆便所 2 か所	20	8	6	16	2	52
駐車場公衆便所	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (施設延利用者数) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
3,135	3,005	3,076	2,781

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
5,780	8,122	5,348	5,614

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
5,918	5,505	5,455	5,000

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
【施設の状況及び課題】 2016 年度 (平成 28 年度) に、建物の改修を行っています。					
【基本的な方針の考え方】 市浦地区の野外レクリエーション施設として必要であるため存続とし、現状維持に努めます。					

所管課	観光物産課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	立佞武多の館	総延床面積 (㎡)	7,691.66
所在地	五所川原市字大町 506 番地 10	代表建築年 (年)	2004
構成施設	立佞武多の館、立佞武多広場倉庫、駐車場公衆トイレ		
施設の目的	市の中心市街地の活性化及び市民等の交流促進を図る。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
立佞武多の館	20	32	8	16	8	84
立佞武多広場倉庫	20	32	8	20	2	82
駐車場公衆トイレ	20	24	8	4	2	58

(2) 供給面 (施設延利用者数) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
111,898	119,682	111,134	99,164

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
24,582	32,956	87,688	31,754

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
65,687	70,042	64,685	66,000

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	大規模改修	管理方法	指定管理
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>2017 年度 (平成 29 年度) に 6 階レストランの改修を行っており、2024 年度 (令和 6 年度) には大規模改修を予定しています。しかし、築 16 年が経過し、空調施設等の老朽化などが著しいため、早急な大規模改修を要します。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>「五所川原立佞武多」の目玉である大型立佞武多の製作、保管並びに展示を行うとともに、中心市街地の拠点であり、本市最大の観光資源であることから、大規模改修を実施し長寿命化等を図ります。</p>					

所管課	観光物産課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	鯉御殿	総延床面積 (㎡)	287.00
所在地	五所川原市脇元野脇 105 番地	代表建築年 (年)	1990
構成施設	鯉御殿		
施設の目的	歴史と文化と自然とのふれあいを通じて、家族ぐるみで楽しめる野外レクリエーションの場を確保し、健康でゆとりある生活の推進を図る。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
鯉御殿	20	8	6	16	2	52

(2) 供給面 (施設延利用者数) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
494	582	392	309

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
十三湖中の島ブリッジパークで一括管理	十三湖中の島ブリッジパークで一括管理	十三湖中の島ブリッジパークで一括管理	十三湖中の島ブリッジパークで一括管理

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
741	934	635	750

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<b>【施設の状況及び課題】</b> 2016 年度 (平成 28 年度) に改修を行っています。					
<b>【基本的な方針の考え方】</b> 必要に応じて修繕をしながら現状を維持します。修繕では施設が存続できず大規模改修が必要となる場合は、廃止を視野に入れて検討します。					

所管課	観光物産課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	金木交流プラザ	総延床面積 (㎡)	410.67
所在地	五所川原市金木町芦野 90 番地 1	代表建築年 (年)	2003
構成施設	金木交流プラザ		
施設の目的	広く市民と来訪者との交流を促進し、併せて文化の向上を図る。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
金木交流プラザ	20	24	8	4	10	66

(2) 供給面 (施設延利用者数) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
10,911	10,794	10,804	10,269

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
2,812	2,821	2,250	2,627

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
0	0	0	0

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	指定管理
<p><b>【施設の状況及び課題】</b>            建物に特に問題は無く、必要に応じて修繕している状況です。            金木地域の玄関口として、1 階は津軽鉄道利用者の待合室、2 階は主に食堂として利用されています。</p>					
<p><b>【基本的な方針の考え方】</b>            市民と来訪者との交流の場であり、必要に応じて修繕しながら現状を維持します。</p>					

所管課	観光物産課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	山王坊公衆便所	総延床面積 (㎡)	30.00
所在地	五所川原市相内岩井 84 番地 22	代表建築年 (年)	1987
構成施設	山王坊公衆便所		
施設の目的	山王坊日吉神社及び山王坊遺跡を訪れる方の利便性を図る。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
山王坊公衆便所	20	8	6	4	2	40

(2) 供給面 (単位: )

過去3か年			将来推計
2015年度	2016年度	2017年度	2029年度
—	—	—	—

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去3か年			将来推計
2015年度	2016年度	2017年度	2029年度
7	7	7	7

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去3か年			将来推計
2015年度	2016年度	2017年度	2029年度
0	0	0	0

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	現状維持	管理方法	直営
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>山王坊日吉神社及び山王坊遺跡を訪れる人が利用する公衆便所で、管理費として電気料金の支払いを行っています。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>山王坊日吉神社及び山王坊遺跡を訪れる人が利用できる公衆便所が近辺に本施設のみであること、また東北自然歩道のコース上にある公衆便所であることから存続とします。</p> <p>本施設の利用者はほぼ神社・遺跡を訪れる人であることから、神社・遺跡と一体的な管理を検討する必要があります。</p>					

所管課	農林水産課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	金木自然休養村管理センター	総延床面積 (㎡)	659.00
所在地	五所川原市金木町芦野 234 番地 1	代表建築年 (年)	1982
構成施設	金木自然休養村管理センター		
施設の目的	自然環境及び農業への理解と観光農業の推進を図る。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
金木自然休養村管理センター	20	8	10	4	2	44

(2) 供給面 (施設延利用者数) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
638	437	634	—

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
834	911	859	—

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
39	20	37	—

## 3. 基本的な方針

方向性	廃止	行動計画	民間委譲	管理方法	—
<p><b>【施設の状況及び課題】</b>  施設の一部は、指定管理者の自主事業として食堂、贈答品及び雑貨の店内販売の場所として提供しています。施設管理の経費は旧金木町 (合併後は五所川原市) より委託料や指定管理料を支出していましたが、2008 年度 (平成 20 年度) の事務事業の見直しで、2009 年度 (平成 21 年度) より施設の廃止が決定されました。廃止の決定を受け、指定管理者側から委託料や指定管理料は無料でも管理を継続したいとの申し出により、現在の管理体制となりました。過去 3 か年の維持管理コストは施設の修繕費用です。</p> <p><b>【基本的な方針の考え方】</b>  これまで、桜まつりの時に特に利用率が高く、県立芦野公園への幼稚園、保育園、小学校等の遠足時の昼食の際、雨天時には利用されていましたが、現在、公園内にも大きな東屋があるので利用率は低下しており、施設の用途について検討が必要です。</p>					

所管課	社会教育課
-----	-------

## 1. 施設の概要及び目的

施設名称	津軽三味線会館	総延床面積 (㎡)	780.20
所在地	五所川原市金木町朝日山 189 番地 3	代表建築年 (年)	1999
構成施設	津軽三味線会館		
施設の目的	市の文化と商工業の向上及び発展を図る。		

## 2. 施設の現況

(1) 品質面 (建物性能) ※品質面の合計は 100 点満点 (表 1 参照) (単位: 点)

構成施設	耐震性能	老朽化状況	主体構造	大規模改修状況	福祉性能	合計
津軽三味線会館	20	24	8	4	8	64

(2) 供給面 (施設延利用者数) (単位: 人)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
36,063	34,840	31,037	30,000

(3) 財政面 (支出: 施設に係る維持管理コスト) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
25,472	26,581	26,204	26,000

(4) 財政面 (収入: 利用料等収入) (単位: 千円)

過去 3 か年			将来推計
2015 年度	2016 年度	2017 年度	2029 年度
15,959	15,462	13,635	13,000

## 3. 基本的な方針

方向性	存続	行動計画	一部改修	管理方法	指定管理
<p>【施設の状況及び課題】</p> <p>毎年小破修繕を実施している状況で、耐用年数を超過している空調設備の更新、屋根の雨漏りの改修が今後必要となります。</p>					
<p>【基本的な方針の考え方】</p> <p>毎年多くの観光客が訪れているものの、維持管理費が利用料金収入を大幅に上回っている施設であるため、今後施設の利用方法の変更を含め、検討が必要です。</p>					

【表1】建物性能

評価基準に重みを掛けたものを建物性能とする。

評価基準		重み
①耐震性能	5点：新耐震基準（建築年が1981年（昭和56年）以降） 4点：旧耐震基準であるが耐震性有（Is値0.72以上） 3点：旧耐震基準であるが耐震性有（Is値0.6以上） 2点：旧耐震基準であるが今後耐震改修の計画有り 1点：旧耐震基準（建築年が昭和56年前）	×4
②老朽化状況	法定耐用年数に対する建築経過年数の割合を以下の区分で評価。 5点：0～25%未満 4点：25～50%未満 3点：50～75%未満 2点：75～100%未満 1点：100%以上	×8
③主体構造	5点：主体構造が鉄骨鉄筋コンクリート、鉄筋コンクリート、プレキャストコンクリート等 4点：主体構造が鉄骨造、軽量鉄骨造など 3点：主体構造が木造、コンクリートブロックなど	×2
④大規模改修状況	5点：建築後10年以内の建物（大規模改修が不要） 4点：建物本体の改修を実施 3点：設備の改修を実施 2点：未実施だが、改修計画有り 1点：未実施	×4
⑤福祉性能	エレベーター、多目的トイレ、車いす用スロープ、自動ドア、手すり、点字ブロックの6項目のうち、対応している項目数に応じて評価。 5点：4項目以上対応済 4点：3項目対応済 3点：2項目対応済 2点：1項目対応済 1点：未対応	×2